

令和3年
火災・救急・救助の概要

高砂市消防本部

目 次

【火災】

1 火災の概要	1
(1) 出火原因	1
(2) 死者及び負傷者	1
(3) 建物焼損棟数及びり災世帯数	1
(4) 損害額	1
2 火災発生状況（前年との比較）	2
3 年別火災件数、損害額及び火災種別	3
(1) 年別火災件数及び損害額	3
(2) 年別火災種別件数	3
4 月別火災発生状況	4
5 時間別火災発生状況	5
6 曜日別火災発生状況	5
7 地区別火災発生状況	6
8 火災覚知別状況	6
9 出火原因及び損害額	7
10 初期消火状況	7
(1) 初期消火実施状況	7
(2) 初期消火器具使用状況	7

【救急】

1 救急の概要	8
(1) 事故種別	9
(2) 傷病程度別搬送人員	9
(3) 新型コロナウイルス感染症について	10
2 救急出動状況（前年との比較）	11
3 月別出動件数	12
4 時間別出動件数	13
5 曜日別出動件数	13
6 地区別出動件数	14
7 急病にかかる疾病分類別搬送人員状況	14
8 現場到着所要時間別出動件数	15

9 病院収容所要時間別搬送人員状況	15
10 年齢区分別傷病程度別搬送人員状況	16
11 発生場所別搬送人員状況	16
12 応急処置実施件数	17

【救助】

1 救助の概要	18
2 救助出動状況（前年との比較）	19
3 月別出動件数	20
4 地区別出動件数	20
5 救助種別及び傷病程度別出動件数	21
6 救助種別及び発生場所別出動件数	21

【火災】

1 火災の概要

令和3年中に高砂市内で発生した火災は24件（前年比2件減）で、1日あたりに換算すると、約15日に1件の割合で火災が発生したことになります。また、出火率（人口1万人あたりの火災件数）は2.6件となり、前年から0.3件の減少となりました。

火災種別でみると、建物火災が21件（前年比7件増）で、全体の88%を占め、車両火災が1件（前年比1件減）、その他の火災が2件（前年比8件減）となっています。

建物火災では、住宅関係の火災が8件（前年比1件減）で、建物火災全体の38%（前年64%）を占めています。

(1) 出火原因

火災件数24件の出火原因は、電気機器・装置が7件、放火（疑い含む）が5件、たばこが3件、コンロが1件、火入れが1件、ストーブが1件、衝突の火花が1件、配線器具が1件、不明が1件、その他が3件となっています。

(2) 死者及び負傷者

火災による死者は1人（前年比1人増）、負傷者は6人（前年比増減なし）となっています。

(3) 建物焼損棟数及びり災世帯数

建物焼損棟数は27棟で、内訳は全焼5棟、半焼2棟、部分焼6棟、ぼや14棟となっています。

り災世帯は10世帯で、り災人員は14人となっています。

(4) 損害額

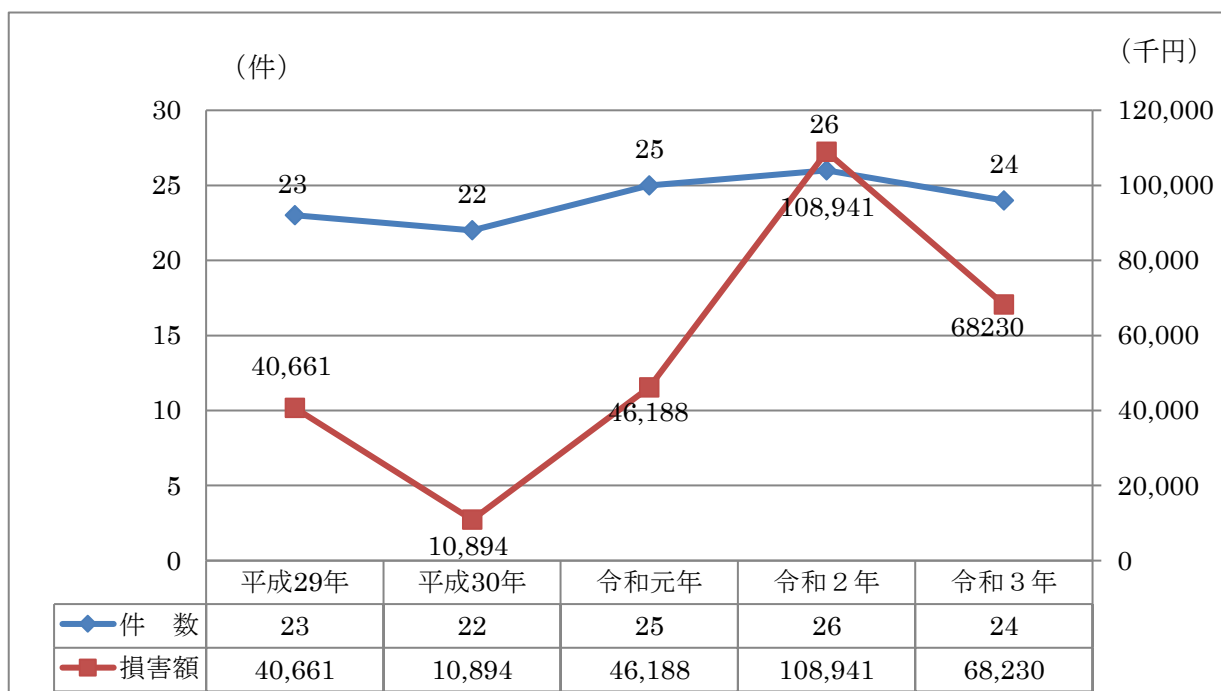
建物火災の損害額は65,553千円（前年比42,840千円減）で、建物火災1件あたりの損害額は約3,122千円となっています。

2 火災発生状況（前年との比較）

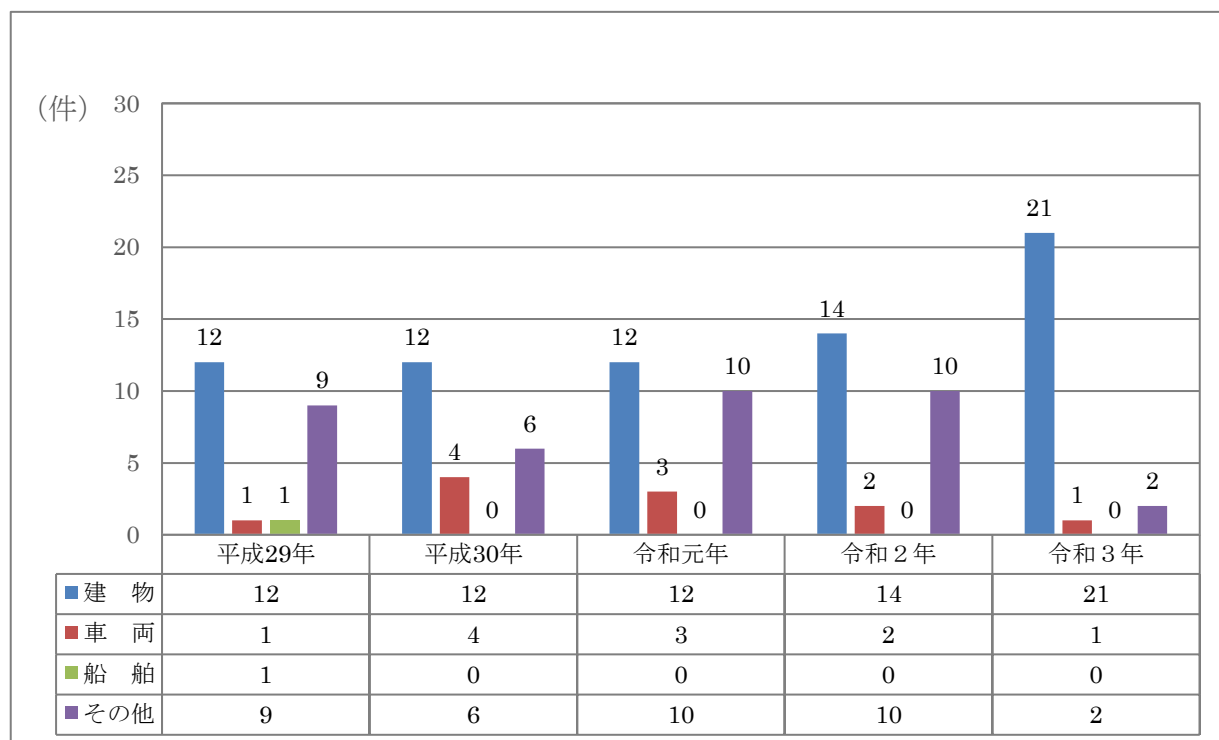
区 分 \ 年 別		令和2年	令和3年	増 減 (△は減少)
火災 件 数	建 物 火 災	14	21	7
	林 野 火 災			
	車 両 火 災	2	1	△1
	船 舶 火 災			
	航 空 機 火 災			
	そ の 他 の 火 災	10	2	△8
	合 計	26	24	△2
損害額 (千円)	建 物	108,393	65,553	△42,840
	林 野			
	車 両	486	1,562	1,076
	船 舶			
	航 空 機			
	そ の 他	62	1,115	1,053
	合 計	108,941	68,230	△40,711
焼損面積	床 面 積 (㎡)	511	862	351
	表 面 積 (㎡)	162	11	△151
	林 野 (a)			
焼 損 車 両 台 数		2	3	1
焼 損 棟 数	全 焼	4	5	1
	半 焼	1	2	1
	部 分 焼	12	6	△6
	ぼ や	10	14	4
	合 計	27	27	0
り 災 世 帯 数		21	10	△11
り 災 人 員		44	14	△30
死 者			1	1
負 傷 者		6	6	0

3 年別火災件数、損害額及び火災種別

(1) 年別火災件数及び損害額



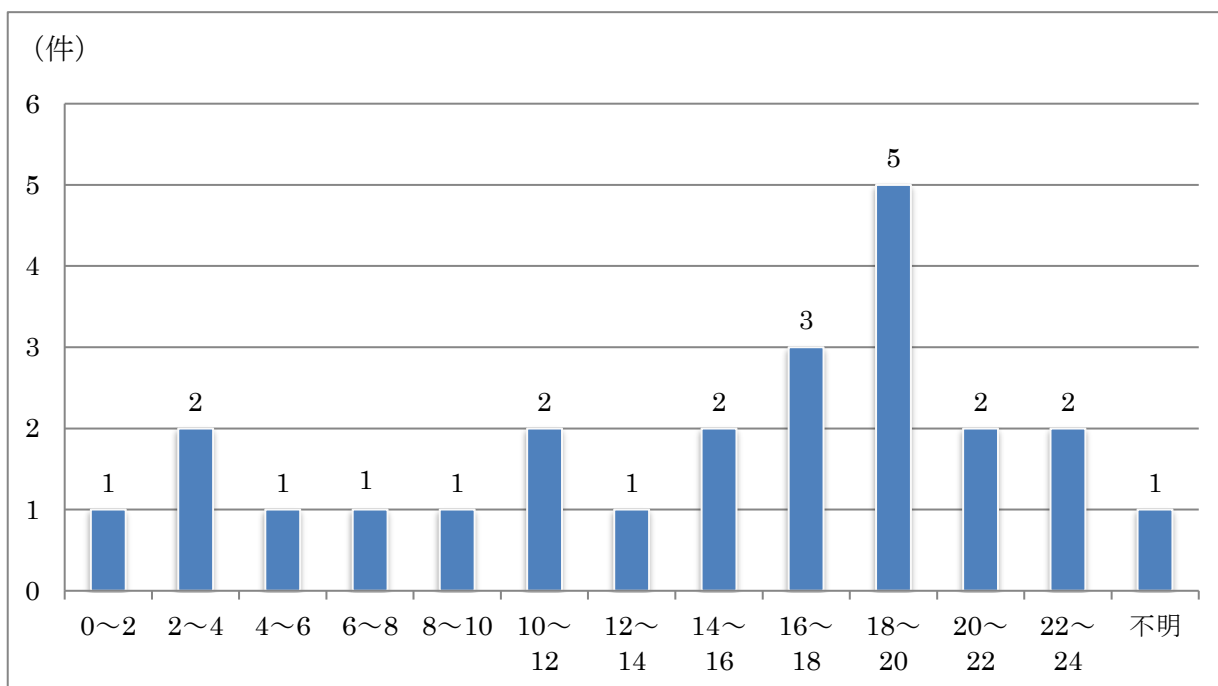
(2) 年別火災種別件数



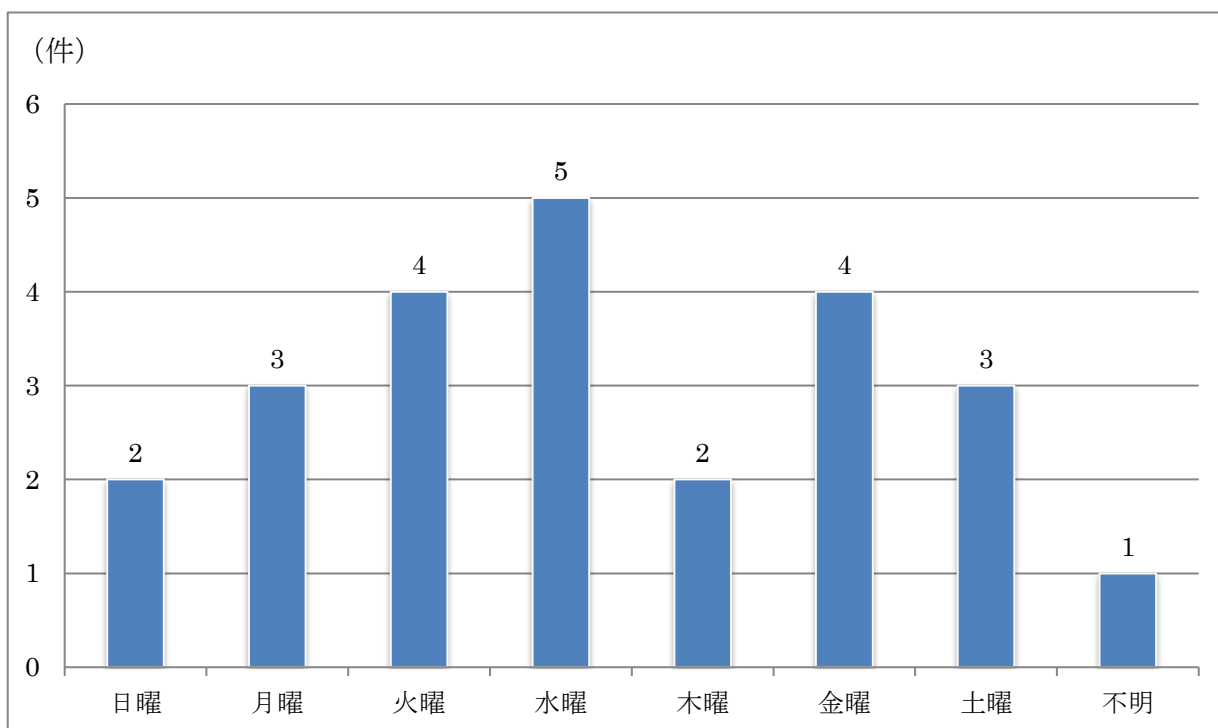
4 月別火災発生状況

月 別 区 分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
火 災 件 数	建 物		4	3	4	2	1	1	3	1		1	1	21
	林 野													
	車 両		1											1
	船 舶													
	航空機													
	その他										2			2
	合 計		5	3	4	2	1	1	3	1	2	1	1	24
損 害 額 (千 円)	建 物		224	30,925	25,851	354	4,684	45	3,276	110		71	13	65,553
	林 野													
	車 両		1,260		217		85							1,562
	船 舶													
	航空機													
	その他		1,065		17		33							1,115
	合 計		2,549	30,925	26,085	354	4,802	45	3,276	110		71	13	68,230
焼 損 面 積	床 面 積 (㎡)			231	467		137		27					862
	表 面 積 (㎡)		3	4								4		11
	林 野 (a)													
焼損車両台数			1		2									3
焼 損 棟 数	全 焼			1	1		3							5
	半 焼				1				1					2
	部分焼		1	3					1			1		6
	ぼ や		3		4	2		1	2	1			1	14
	合 計		4	4	6	2	3	1	4	1		1	1	27
り災世帯数				3	1		1	1	3	1				10
り災人員				4	2		1	1	4	2				14
死 者							1							1
負 傷 者			2	1			1		1	1				6

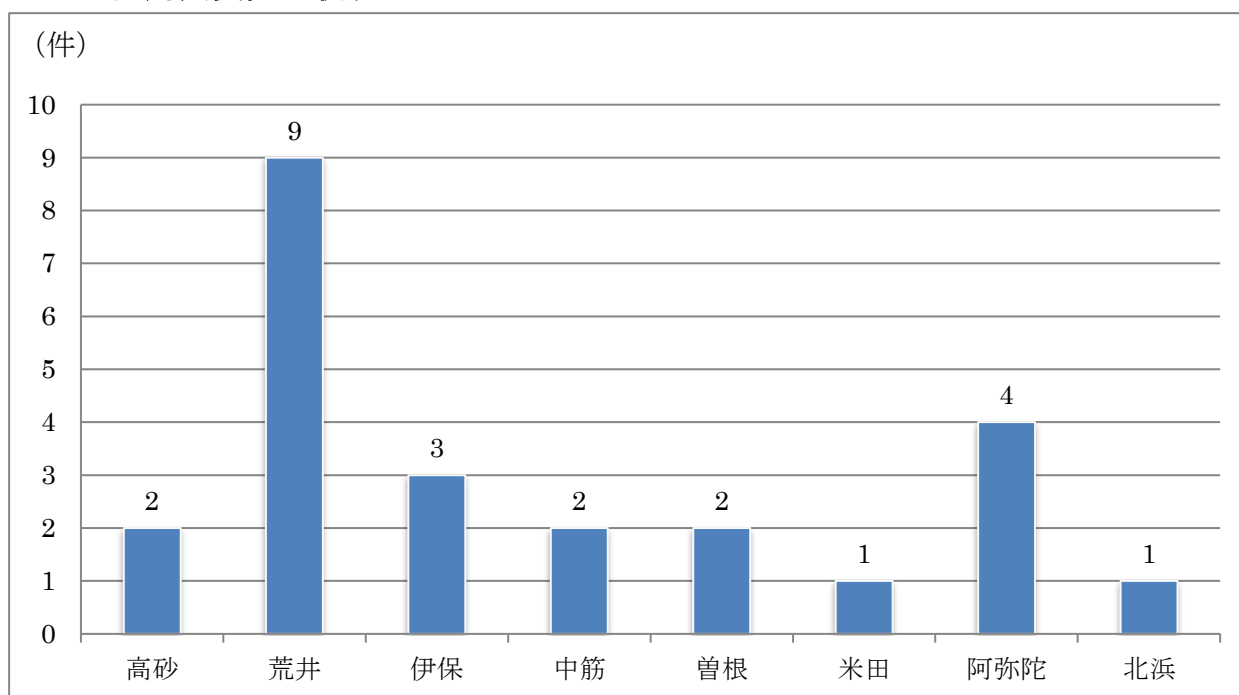
5 時間別火災発生状況



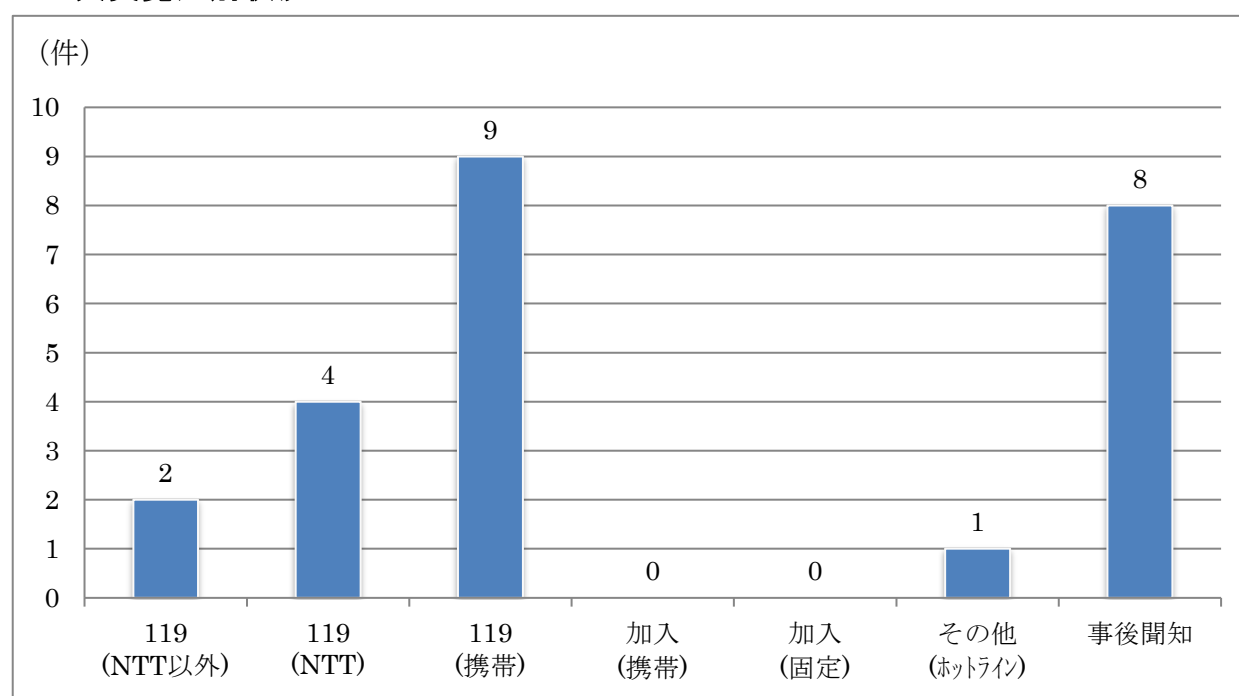
6 曜日別火災発生状況



7 地区別火災発生状況



8 火災覚知別状況



9 出火原因及び損害額

月別 原因別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	損害額 (千円)
火災件数		5	3	4	2	1	1	3	1	2	1	1	24	68,230
電気機器・装置		2		1			1	2			1		7	9,757
放火(疑い含む)			1	2	1					1			5	1,484
たばこ			1			1		1					3	5,159
コンロ									1				1	110
火入れ										1			1	0
ストーブ			1										1	30,587
衝突の火花		1											1	61
配線器具		1											1	130
その他		1			1							1	3	2,692
不明				1									1	18,250

10 初期消火状況

(1) 初期消火実施状況

種別 実施状況	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
火災件数	21		1			2	24
初期消火実施状況 (初期消火のみで鎮火)	10 (6)		0 (0)			0 (0)	10 (6)
初期消火なし	11		1			2	14

(2) 初期消火器具使用状況

種別 初期消火種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
初期消火実施件数	10		0			0	10
粉末消火器	6		0			0	6
水道、浴槽、汲み置き 等の水をかけた	4		0			0	4

【救急】

1 救急の概要

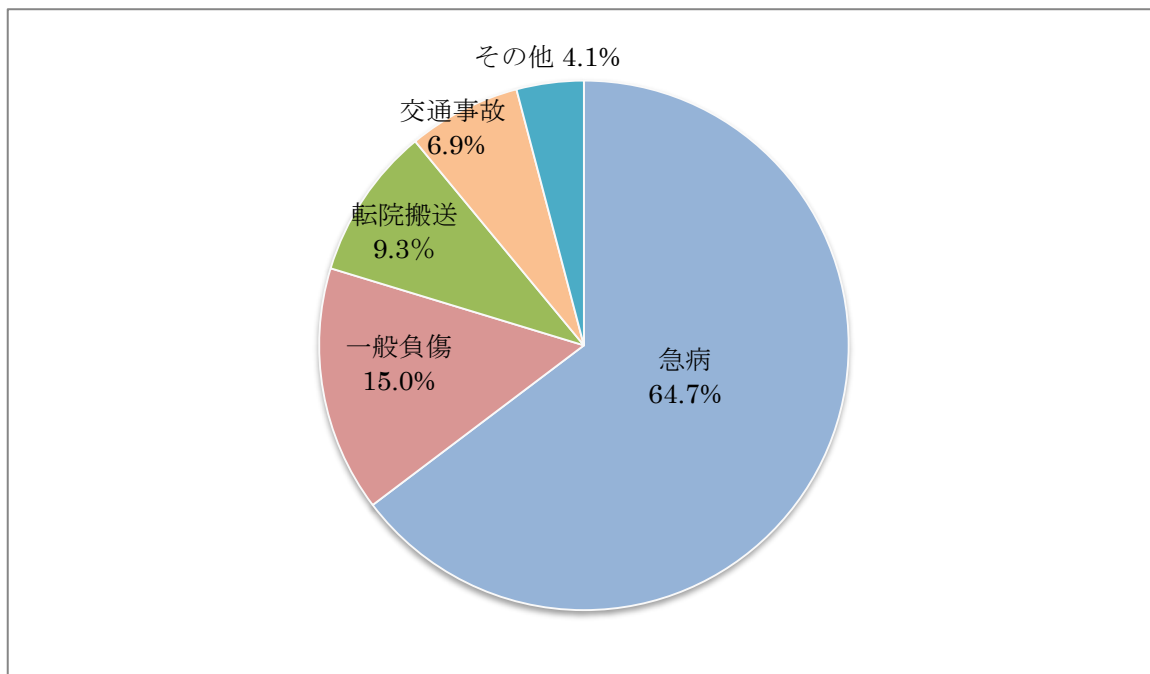
令和３年の救急出動件数は３,９０８件（前年比１３７件増）、搬送人員は３,４４７人（前年比５５人増）となっています。これは、１日平均１０.７件出動し、市民２６人に１人を救急車で医療機関へ搬送したことになります。

区 分			出動件数	搬送人員
事 故 種 別	火 災		17	5
	自 然 災 害			
	水 難 事 故		4	1
	交 通 事 故		270	246
	労 働 災 害		36	34
	運 動 競 技		27	25
	一 般 負 傷		585	525
	加 害		9	8
	自 損 行 為		33	18
	急 病		2, 528	2, 225
	そ の 他	転 院 搬 送	364	359
		医 師 搬 送	1	0
		資器材等輸送		
		そ の 他	34	1
合 計			3, 908	3, 447

区 分		搬送人員
傷 病 程 度	死 亡	64
	重 症	228
	中 等 症	1,763
	軽 症	1,392
	そ の 他	
合 計		3,447

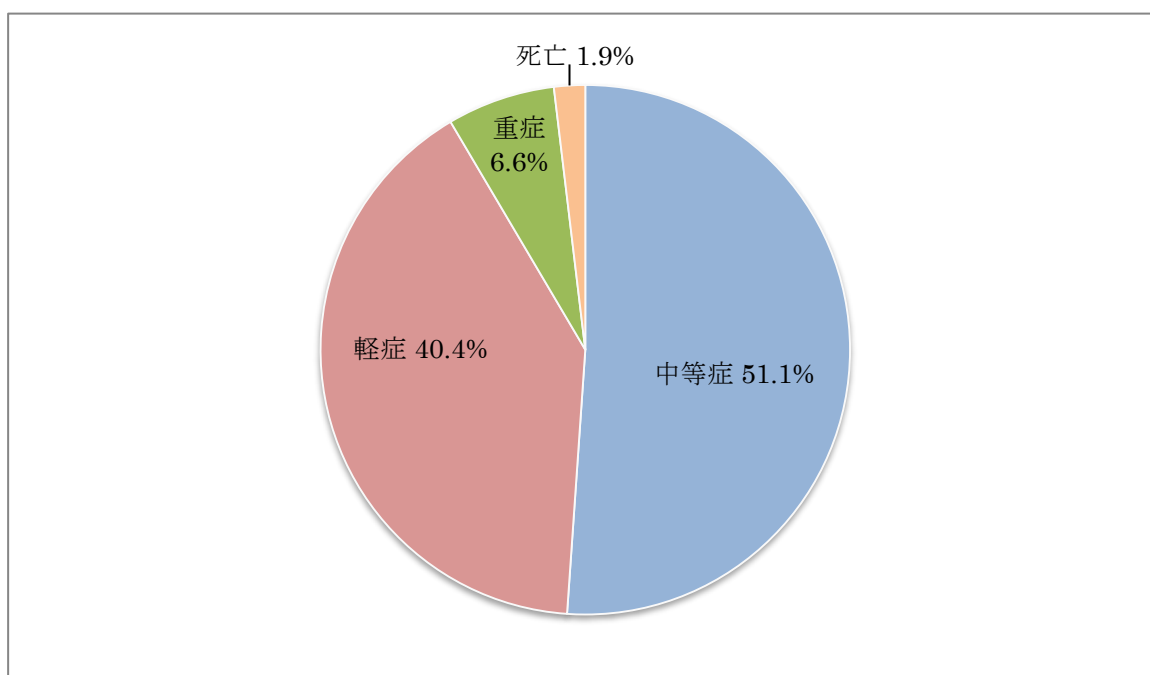
(1) 事故種別

事故種別では、急病が 2,528 件（前年比 92 件増）で全体の 64.7%を占め、次いで一般負傷が 585 件（前年比 21 件増）、転院搬送が 364 件（前年比 63 件増）となっています。



(2) 傷病程度別搬送人員

傷病程度別搬送人員は、中等症が 1,763 人（前年比 202 人増）で全体の 51.1%を占め、次いで軽症が 1,392 人（前年比 146 人減）、重症が 228 人（前年比 10 人減）、死亡が 64 人（前年比 9 人増）となっています。



(3) 新型コロナウイルス感染症について

令和3年における新型コロナウイルス感染症の救急搬送状況（転院搬送を含む）については、陽性患者61人（前年比51人増）の搬送を行っています。

月 別 区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出 動 件 数		9	1		14	20	6	2	6	8	1			67
搬 送	不 搬 送	1				2			1	3				7
	搬送人員	8	1		15	18	6	2	5	5	1			61
傷 病 程 度	死 亡													
	重 症				3	6	1							10
	中 等 症	8	1		11	11	5	2	5	5				48
	軽 症				1	1					1			3
	そ の 他													

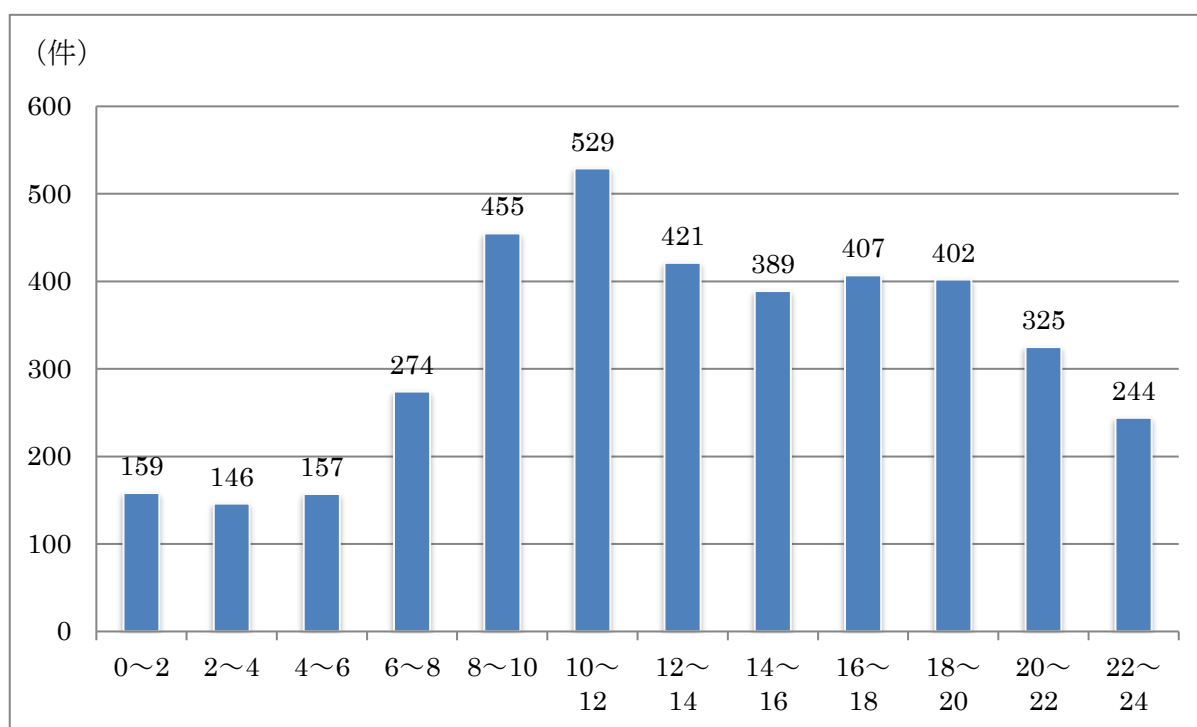
2 救急出動状況(前年との比較)

年 別 区 分		令和 2 年	令和 3 年	増 減 (△は減少)
出 動 件 数		3,771	3,908	137
事 故 種 別	火 災	9	17	8
	自 然 災 害	1		△ 1
	水 難 事 故	4	4	0
	交 通 事 故	299	270	△ 29
	労 働 災 害	47	36	△ 11
	運 動 競 技	16	27	11
	一 般 負 傷	564	585	21
	加 害	17	9	△ 8
	自 損 行 為	40	33	△ 7
	急 病	2,436	2,528	92
	そ の 他	転 院 搬 送	364	63
		医 師 搬 送	1	1
		資 器 材 等 輸 送		
		そ の 他	34	△ 3
搬 送	不 搬 送	394	475	81
	搬 送 人 員	3,392	3,447	55
傷 病 程 度	死 亡	55	64	9
	重 症	238	228	△ 10
	中 等 症	1,561	1,763	202
	軽 症	1,538	1,392	△ 146
	そ の 他			

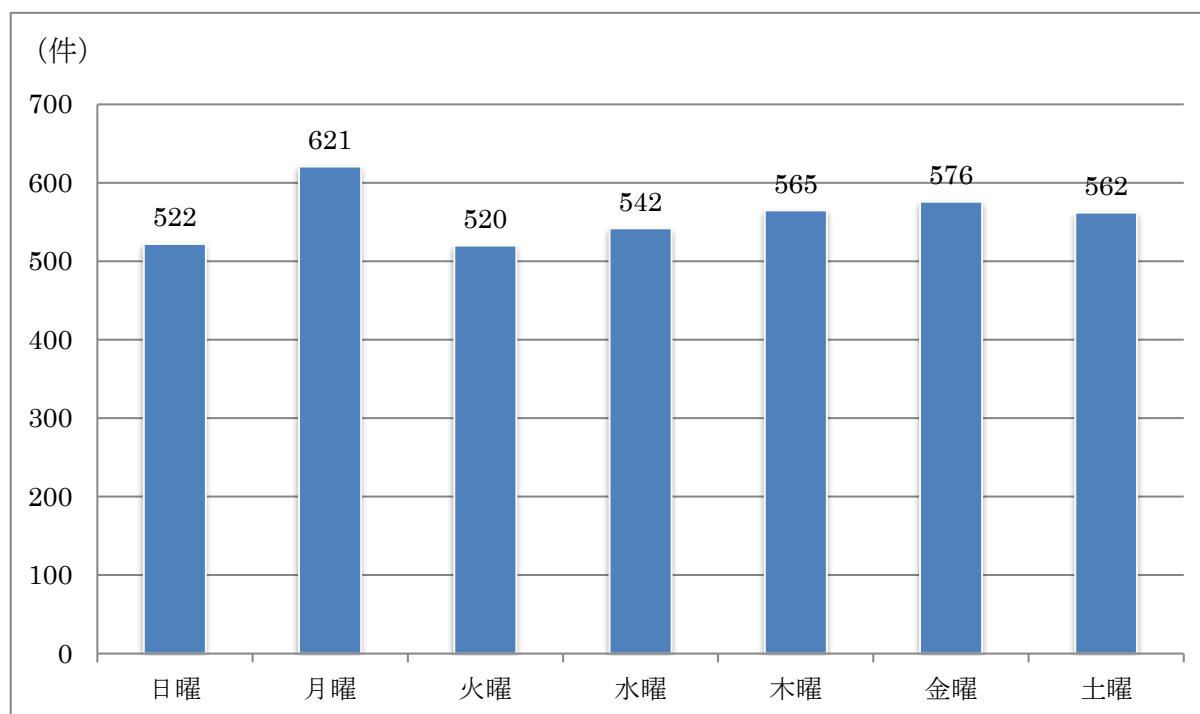
3 月別出動件数

月 別 区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
		出 動 件 数	314	278	314	341	307	278	404	340	311	328	330	363	3,908
事 故 種 別	火 災		4	3	3	1	1		3	1		1		17	
	自 然 災 害														
	水 難 事 故			1						3				4	
	交 通 事 故	17	23	19	27	22	18	29	13	18	22	28	34	270	
	労 働 災 害	3	2		4	2	4	4	7	3	1	4	2	36	
	運 動 競 技	1			2	1	5	2	3	4	2	3	4	27	
	一 般 負 傷	47	40	47	55	40	36	56	45	38	57	56	68	585	
	加 害		1	2	1			1	1		2		1	9	
	自 損 行 為	2	2	4	1	1	3		3	5	5	5	2	33	
	急 病	210	185	202	202	210	180	267	234	205	205	201	227	2,528	
	そ の 他	転院搬送	31	20	32	44	28	27	40	28	33	29	30	22	364
		医師搬送											1		1
		資器材等輸送													
		そ の 他	3	1	4	2	2	4	5	3	1	5	1	3	34
搬 送	不 搬 送	44	30	47	37	32	39	52	46	34	38	41	35	475	
	搬 送 人 員	270	252	267	308	276	239	352	294	278	290	290	331	3,447	
傷 病 程 度	死 亡	5	7	5	5	1	4	6	5	7	7	6	6	64	
	重 症	18	14	23	22	26	9	19	21	16	22	14	24	228	
	中 等 症	142	127	132	171	141	128	159	148	142	144	152	177	1,763	
	軽 症	105	104	107	110	108	98	168	120	113	117	118	124	1,392	
	そ の 他														

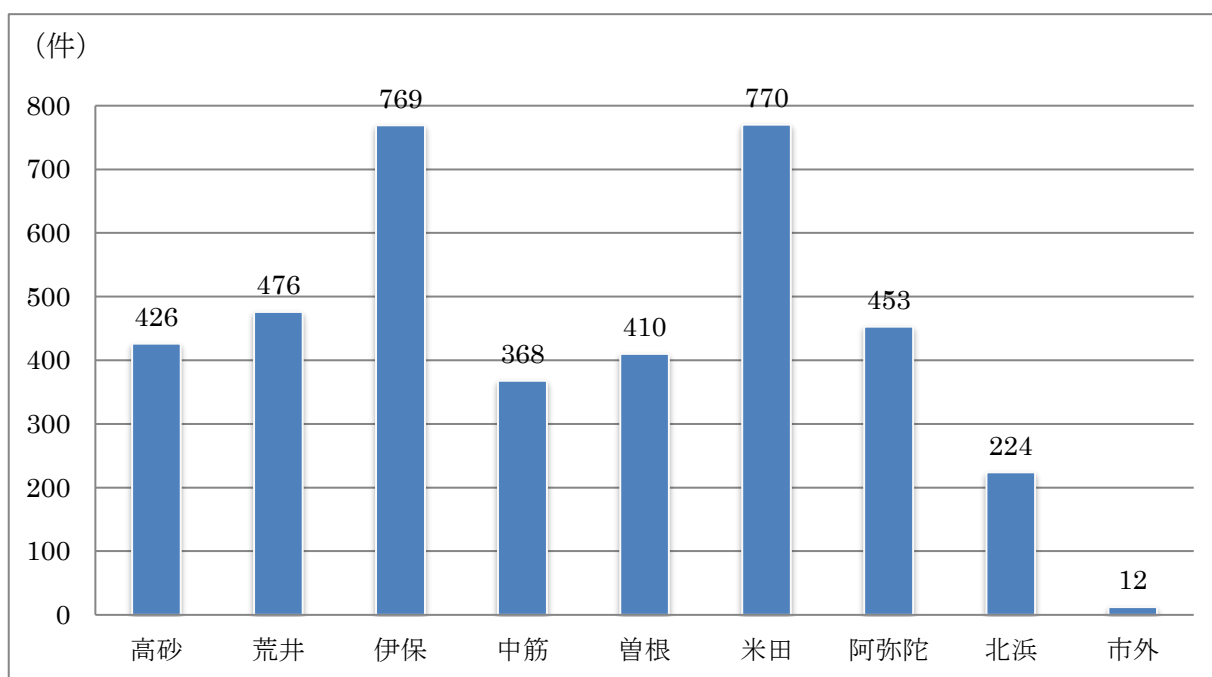
4 時間別出動件数



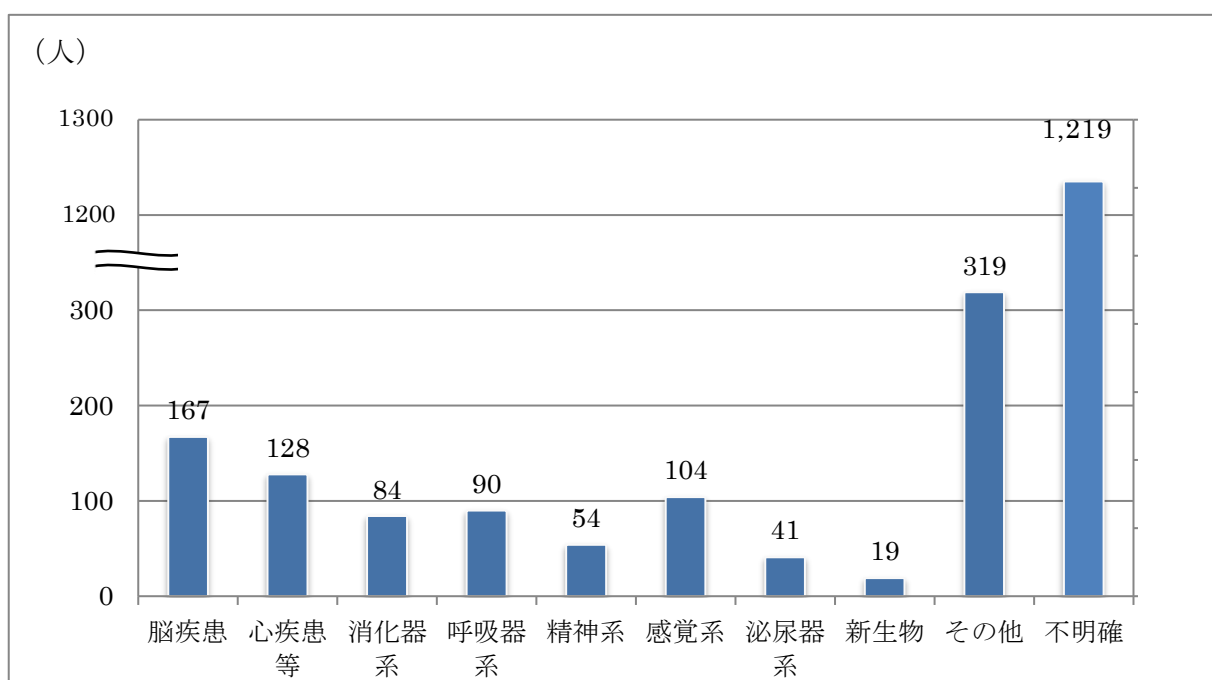
5 曜日別出動件数



6 地区別出動件数



7 急病にかかる疾病分類別搬送人員状況



8 現場到着所要時間別出動件数

通報から現場到着までに要する時間は、平均 7 分 00 秒となっています。5 分以上 10 分未満が 2,972 件と最も多く、全体の 76.0%を占めています。

時 間 区 分	3 分未満	3 分以上 5 分未満	5 分以上 10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上	合 計	現場到着 平均所要時間
急 病	20	309	1,969	227	3	2,528	7 分 10 秒
交通事故	6	50	191	21	2	270	6 分 54 秒
一般負傷	5	67	466	47		585	7 分 01 秒
上記以外	11	130	346	38		525	6 分 17 秒
合 計	42	556	2,972	333	5	3,908	7 分 00 秒

9 病院収容所要時間別搬送人員状況

通報から病院収容までに要する時間は、平均 34 分 23 秒となっています。30 分以上 60 分未満が 1,979 人と最も多く、全体の 57.4%を占めています。

時 間 区 分	20 分未満	20 分以上 30 分未満	30 分以上 60 分未満	60 分以上 120 分未満	120 分以上	合 計	病院収容 平均所要 時間
急 病	39	757	1,352	74	3	2,225	34 分 48 秒
交通事故	18	93	122	13		246	33 分 10 秒
一般負傷	15	160	329	19	2	525	35 分 15 秒
上記以外	19	234	176	22		451	31 分 58 秒
合 計	91	1,244	1,979	128	5	3,447	34 分 23 秒

10 年齢区分別傷病程度別搬送人員状況

年齢区分別の搬送人員は、高齢者が2,224人と最も多く全体の64.5%を占めています。

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡		1		8	55	64
重症		1		46	181	228
中等症	3	49	37	399	1,275	1,763
軽症		127	81	471	713	1,392
合計	3	178	118	924	2,224	3,447

新生児 生後28日未満の者

乳幼児 生後28日以上7歳未満の者

少年 7歳以上18歳未満の者

成人 18歳以上65歳未満の者

高齢者 65歳以上の者

傷病程度は、初診における医師の診断に基づき次のように分類している。

死亡 初診時において死亡が確認されたものをいう。

重症 傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。

中等症 傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。

軽症 傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。

11 発生場所別搬送人員状況

発生場所別の搬送人員は、住宅が2,160人と最も多く全体の62.7%を占めています。

発生場所 区分	住宅	公衆	仕事場	道路	その他	合計
急病	1,789	320	46	61	9	2,225
交通事故	3	4		237	2	246
一般負傷	336	85	2	84	18	525
上記以外	32	382	31	2	4	451
合計	2,160	791	79	384	33	3,447

12 応急処置実施件数

区 分 \ 事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	左記以外	合 計
応急処置対象搬送人員	2,225	246	524	449	3,444
止 血	8	5	32	4	49
固 定	4	49	18	21	92
人 工 呼 吸	7		1	4	12
心 肺 蘇 生	85	1	3	7	96
酸 素 吸 入	399	13	25	106	543
気 道 確 保	93	3	4	9	109
うち経鼻エアウェイ ※1					
うち喉頭鏡、鉗子等 ※2	4		1		5
うちラリソグ [®] アルマスク等 ※3	38		1	4	43
うち気管挿管 ※4	4		1		5
保 温	7	4	4	6	21
被 覆	8	39	74	14	135
在 宅 療 法 継 続	14				14
除 細 動	11				11
静脈路確保（輸液）※5	31	1	1	3	36
薬 剤 投 与	13			2	15
血 糖 測 定	8				8
ブ ド ウ 糖 投 与	5				5
血 圧 測 定	2,032	242	486	429	3,189
聴診器による心音等の聴取	908	78	151	155	1,292
血中酸素飽和度の測定	2,140	245	517	444	3,346
心 電 図	997	25	52	162	1,236
そ の 他 の 応 急 処 置	2,129	243	515	426	3,313
合 計	8,899	948	1,883	1,792	13,522

※1 経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載

※2 喉頭鏡、鉗子等により異物除去を行った件数を内数として記載

※3 救急救命士がラリソグアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載

※4 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数を内数として記載

※5 心肺機能停止時、心肺機能停止前及びブドウ糖投与のための静脈路確保の総件数

【救助】

1 救助の概要

令和3年の救助出動件数は80件（前年比12件減）、活動件数は44件（前年比2件減）となっています。

事故種別では、その他の事故が38件（前年比10件減）で全体の約48%を占めています。

救助人員は51人（前年比5人増）で、建物事故26人、その他の事故8人、交通事故13人、水難事故2人、火災1人、ガス・酸欠事故1人となっています。

区 分		出動件数	活動件数	救助人員
救 助 事 故 種 別	火 災	1	1	1
	交 通 事 故	13	8	13
	水 難 事 故	2	2	2
	自 然 災 害			
	機 械 事 故			
	建 物 事 故	25	25	26
	ガス・酸欠事故	1	1	1
	破 裂 事 故			
	その他の事故	38	7	8
合 計		80	44	51

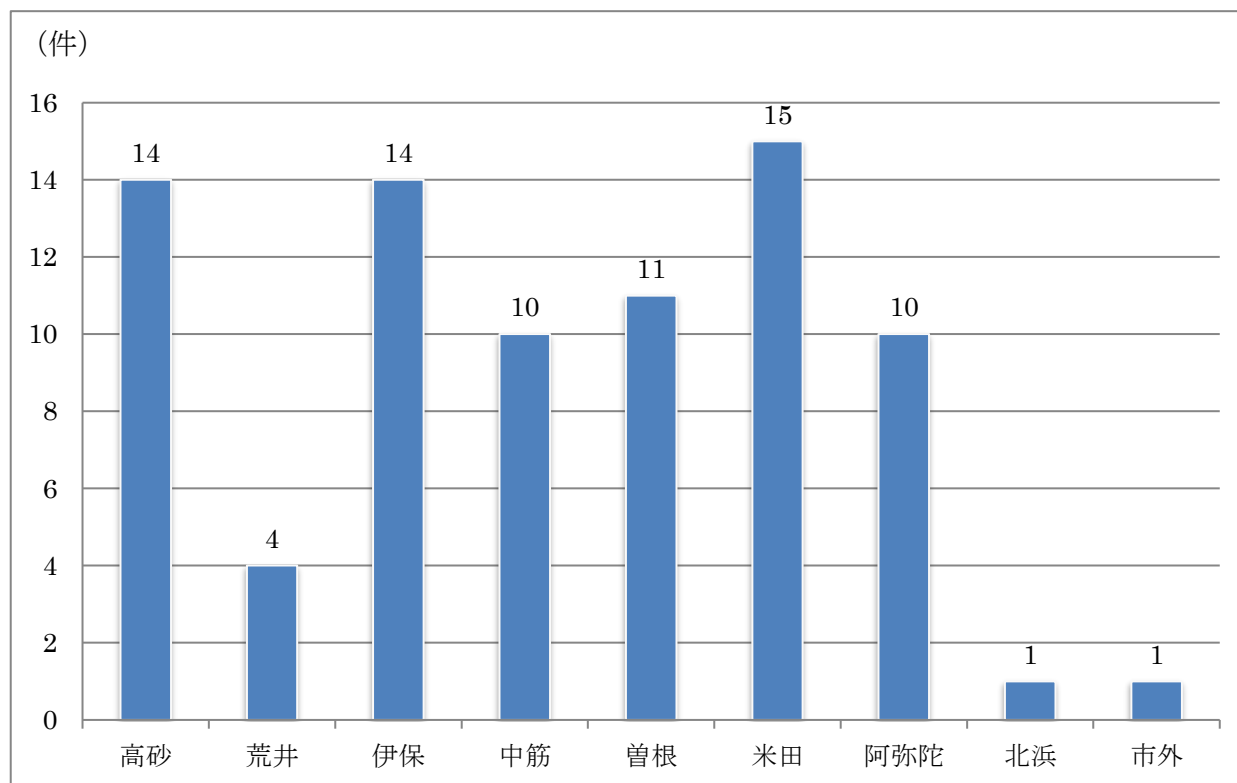
2 救助出動状況(前年との比較)

年 別 区 分		令和 2 年	令和 3 年	増 減 (△は減少)
出 動 件 数		92	80	△12
活 動 件 数		46	44	△2
救 助 人 員		46	51	5
救 助 事 故 種 別	火 災	3	1	△2
	交 通 事 故	12	13	1
	水 難 事 故	2	2	0
	自 然 災 害			
	機 械 事 故			
	建 物 事 故	26	25	△1
	ガス・酸欠事故	1	1	0
	破 裂 事 故			
	その他の事故	48	38	△10
傷 病 程 度	死 亡	13	14	1
	重 症	6	6	0
	中 等 症	10	15	5
	軽 症	11	8	△3

3 月別出動件数

月 別 区 分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
救 助 事 故 種 別	火 災						1							1
	交 通 事 故	1	2	1	1	2				1	2	2	1	13
	水 難 事 故									1		1		2
	自 然 災 害													
	機 械 事 故													
	建 物 事 故	2	1	1	3	3		2	4	1	2	3	3	25
	ガス・酸欠事故					1								1
	破 裂 事 故													
	その他の事故	3	2	5	2	1	6	3	6	2	5	1	2	38
合 計		6	5	7	6	7	7	5	10	5	9	7	6	80

4 地区別出動件数



5 救助種別及び傷病程度別出動件数

種 別 区 分		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス・酸 欠事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出 動 件 数		1	13	2			25	1		38	80
活 動 件 数		1	8	2			25	1		7	44
救 助 人 員		1	13	2			26	1		8	51
傷 病 程 度	死 亡	1	1	1			11				14
	重 症		4				1	1			6
	中 等 症		4	1			9			1	15
	軽 症		4				2			2	8

6 救助種別及び発生場所別出動件数

種 別 区 分			火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス・酸 欠事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出 動 件 数			1	13	2			25	1		38	80
屋 内	住 居		1					24			26	51
	その他の屋内											
屋 外	道 路			9							2	11
	水 面	内 水 面		1								1
		外 水 面			2							2
	山 岳										6	6
	地 下											
	そ の 他			3				1	1		4	9